

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市会議員団
2009. 4. 29号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

保育所待機児解消に全力を！

保育所待機児解消のため、日本共産党市議団が市長に緊急申し入れ

今年の待機児は1000人超

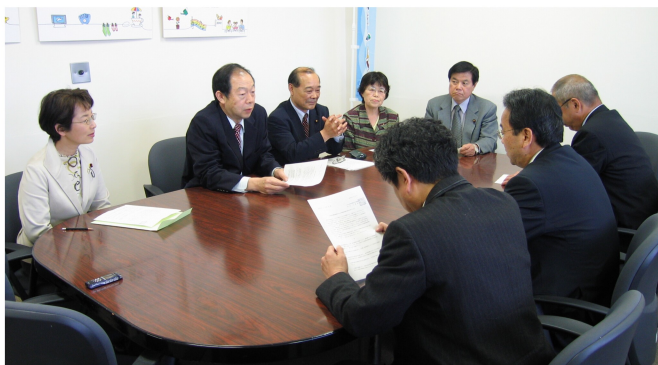
急速な景気悪化は、子育て世帯にも大きな影響を与え、「働かなくてはならないのにこどもが保育園に入れない」という声が広がり、大きな社会問題となっています。

本市の待機児は、06年度353人、07年度576人、08年度707人と増加していますが、今年度1000人を超えることは確実(こども青少年局長)で、深刻な事態になっています。なお、4月1日時点での正確な待機児数は、5月に判明予定です。

解消に向けて具体的に5つの提案

日本共産党横浜市議団は24日、待機児解消に向けて緊急の申し入れを中田市長に行いました。申し入れ項目は以下の5点。

1. 新年度・来年度開設予定園を前倒しで開設すること。また、家庭保育福祉員による家庭保育事業を、期日を早めて実施すること。
2. 定員外の増員に応じた保育園に対し、人件費と運営費等について安定的に保障すること。
3. 横浜保育室の対象児童を全年齢に拡大し、基本助成費の引き上げや所得区分による保育料に変更すること。
4. 公共施設や学校の空き室等を利用し、本市直営で緊急に保育所を確保すること。



こども青少年局長(右から2人目)に申し入れ書を渡し、懇談する(左から)白井正子、大貫憲夫、中島文雄、関美恵子、河治民夫の各議員＝4月24日、横浜市役所

5. 待機児の保護者に対して、定員空き認可園や横浜保育室を紹介するなど、入所希望にそった親身な相談体制と仕組みをつくること。

家庭保育福祉員は来年度も増員

こども青少年局長らとの懇談では、中島文雄議員が、市が保育関係者と協力して、待機児解消に力を尽くすよう要望しました。

局長は、なんとかしなくてはいけないが、留保財源がゼロで財政的に難しいと述べ、開設が遅れている(仮称)中川駅舎上保育所は9月に開園し、今年度の運営費もあることを明らかにしたほか、家庭保育福祉員は来年度も今年度(6人)と同規模で増やしたいと語りました。



市民アンケート続々と到着

日本共産党横浜市議団が4月上旬から実施している市民アンケートの回答が続々と寄せられています。その数4月28日現在で3598通。市議団は、アンケートの整理にうれしい悲鳴を上げています。

引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。